



陵南橋から西側上流を望む



武蔵陵参道と甲州街道との交差点＝西八王子高尾駅方面



陵南橋欄干＝昭和11年に築造されている



歩道に散った銀杏の葉＝一葉づつが小さい

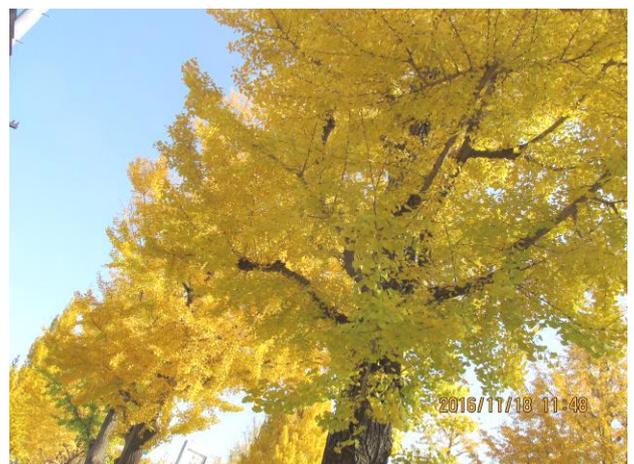
陵南橋を渡り、100mも歩かないうちに甲州街道に至る。銀杏並木が西八王子から高尾駅の先まで真黄色に色づいている。紅葉は、まるで絵の具で黄色く塗ったかというほど美しく色づいている。微風に銀杏の葉がさらさらと頭に降り掛かる。歩道は、黄色い絨毯を引いたようにも思われ、銀杏の葉を集め粉碎すれば絵の具になるのではないかと想われる程だ。絶好の時期に来たかも知れない。



真っ黄色に染まった銀杏



武蔵陵参道と甲州街道との交差点＝高尾方面



黄色い絵の具が作れそうな紅葉



陵南橋と同時期に植えられたとすれば80歳ほどになる?



高尾街道交差点



歩道も黄色い絨毯が敷かれている



歩道橋は絶好の撮影ポイント



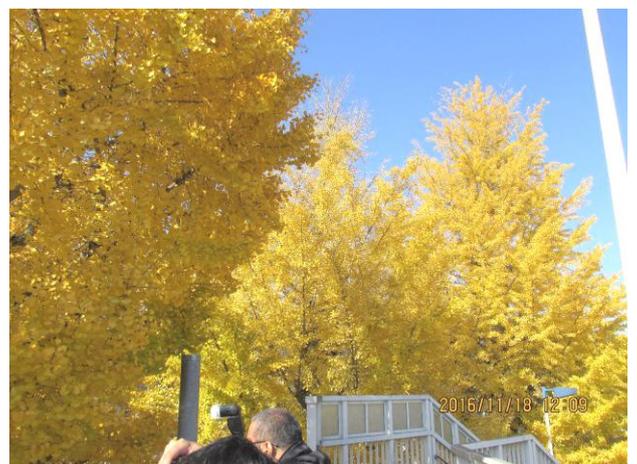
高尾街道手前の銀杏



相模湖方面



銀杏の葉が雨のように降ってくる



歩道橋から撮影する人々

甲州街道も高尾駅近くとなり左手に熊野神社がこじんまりとした境内の中に見える。昔々恋し合う恋人同士の霊を祭っているとのこと。鞘堂の中につつましく本堂が祭られていて、鞘堂の左手には榎と樺が1本となった双樹が有り、今では縁結びの神として信仰を集めているようだ。



熊野神社鞘堂



鞘堂内の御堂



榎の木と樺が双樹となり、縁結びの樹とされている

今回のウォーキングも高尾駅前に戻って、そろそろ予定した終点である。時刻も12時30分、小腹もすいて来た。駅前近くで昼食としたい。駅前の交差点を相模湖側に渡るとすぐに、「高尾

わっぱ飯」の看板が目に入り、カウンターに一列に並び食べさせて頂く。



高尾駅北口駅舎



昼食の高尾わっぱ飯し屋にて昼食



高尾わっぱ飯=1080円

路地裏を抜け、高尾駅前広場に出て、駅舎内にあるレストラン兼喫茶店「一言堂」でコーヒーを啜りながら、今日のウォーキングと次回の定例等の打ち合わせをし、1時44分発の東京行き特別急行に乗る。三鷹駅まで30分余りですってしまう。各駅に乗り換え、荻窪で下車。高尾は意外に近いのだ。

本日のウォーキング歩数は約 8000 歩。丁度良い疲労感を覚えながら自宅へと向かった。

ついでの参考に、荻窪駅からの道筋で咲く花・木を被写体としてシャッターを切ってみた。高尾の秋と荻窪の秋の深まりの違いを感じて頂ければと添付してみます。



近所の庭に咲いたバラ



近所の庭に紅葉し始めたハゼ＝まだ半分の紅葉



近所の庭に咲いた琵琶の花



近所の庭に咲いた八つ手の花



近所の公園庭に咲いた荻



近所の庭に咲いた白バラ

20161118  
JUSTing

案内図

